

百人一首 (歌番号:21~25)

<p>このたびは 幣も取りあへず 手向山 紅葉の錦 神のまにまに</p> <p>菅家</p>  <p>三條右大臣</p>	<p>吹くからに 秋の草木の しをるれば むべ山風を あらしといふらむ</p> <p>文屋康秀</p> 	<p>今来むと いひしばかりに 長月の 有明の月を 待ち出でつるかな</p> <p>素性法師</p> 
<p>名にし負はば あふ坂山の さねかつら 人に知られで くるよしもがな</p>	<p>月見れば 千々に物こそ 悲しけれ わが身ひとつの 秋にはあらねど</p> <p>大江千里</p>	<p>ありあけのつ きを待ちいで つるかな</p>